

とちぎ義博 議会レポート

第21号 2003年 秋号

発行者：福岡市議会議員 栃木義博
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305
TEL.845-7669 FAX.845-8511
E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp

ホームページを開設しました
<http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/>



復旧すむ椎原川の被災現場、7月21日

**「復旧急げ」
「安心して眠れる
仮住居を」**
とちぎ義博が
被災者の声届ける!

10世帯の家屋土台を浚う濁流 7・19豪雨 室見支流の椎原川(早良区)

室見川上流域の支流・椎原川(早良区脇山2丁目)が7月19日未明に河川沿いに建つ10世帯を襲い、家屋の土台の一部を浚う災害が発生しました。被災者は親類縁者に身を寄せたり、市の公共施設に避難するなどの不自由な生活を余儀なくされました。

とちぎ義博は、21日早朝から被災者宅を現地に尋ねて調査を開始。浚われた家屋土台と護岸の復旧を急ぐよう、また本格復旧までの仮住居の確保などについて被災者から喫緊する要望を聞き、市など関係機関に折衝しました。その結果、被災から3日後の22日までは被災者の要望をおおむね実現したところです。

なお、護岸の復旧については、家原松夫県議(民主党・早良区選出)の奮闘で、県土木事務所の迅速な対応が実現でき、被災者に安心感を与えました。



椎原川(早良区)被災者の救済を申し入れる(8月4日)

2家屋に「半壊」の追加認定

8月25日、福岡市は椎原川(脇山2丁目)の全ての被災家屋を再調査した結果、被災した10世帯のうち2家屋を新たに「半壊」の扱いに追加して被災認定しました。これにより、生活資金貸付など現行制度による救済の対象者は3世帯になりました。

なお、椎原川の本格的な河川改良工事については、県土木事務所によると年内にも着工するとしています。

椎原川(早良区)被災者の救済申し入れ

護岸がえぐられ家屋に甚大な損害を与えた今回の災害原因をめぐっては、今後その究明が焦点になります。また、生活支援金の貸付な

民主・市民クラブが救済要件緩和を要請
福岡市
福岡都市圏を襲った大雨被害をめぐり、福岡市議会の民主・市民クラブ(江藤博美代表は四日、山崎広太郎市長に、被災者を対象とした救済制度の要件緩和などを求める要請書を提出した。同クラブは「椎原川沿いの福岡市早良区脇山など、家屋や土地に大きな損害が出たのに、現行の救済制度の基準に当てはまらないケースがある。多くの被災者を救済できる制度にすべきだ」と強く調。支援金など救済制度の被災要件や所得制限の緩和▽被災状況の認定根拠の情報開示▽被災原因の調査と改修工事の早期着手」などを求めた。

8月5日西日本新聞

3セク経営の赤字体質にメス!! 「百道浜・市営駐車場を経営転換」

とちぎ義博が所属する福岡市議会の第3常任委員会で8月22日、港湾局の所管する第3セクターなど外郭団体の決算報告をめぐり、赤字体質からの脱却について意見を申し述べました。経営改革の必要性を指摘したのは、財団法人・福岡市港湾海浜管理センター。同センターは福岡市が全額出資した第3セクターで、シーサイドももちの清掃など海浜公園の管理運営のほか、利用見通しの立たない百道浜の中学校予定地などを借りて有料駐車場経営の収益事業を手がけています。

しかし、同センターの経営実態は人件費など経費を駐車場使用料収入で賄えず、市が駐車場の地代を毎年大幅に減額しており、事実上の赤字補填ではないのかと、議員側から疑問が投げかけられました。

とちぎ義博は、同センターの経営改善に向けて、駐車場運営の外部委託化の必要を主張しました。これに関連して、福岡市港湾局は

民間への業務委託など第3セクターによるこれまでの駐車場経営のあり方を近く抜本的に転換する意向を示しました。



経営改革もとめられる市営駐車場。シーサイドももち

報告 市民が創るマニフェスト集会 政権公約づくりに参画、民主党の菅さんと

市民の立場から政権公約づくりに参画しようという試みが8月29日、福岡市内で開かれました。

集会を企画したのは、市民の新たな政治参加をめざす「非営利活動法人シンクタンク九州」のメンバー。10月中の解散総選挙が囁かれています。今後の選挙と政治のスタイルを変えようと言われている「マニフェスト」(新聞などでは政権公約と訳しています)を政党と有権者との「契約」にするために、市民自らが政党のマニフェストづくりに係わろうという意欲的な取り組みでした。

小沢・自由党の合流で期待感の膨らむ民主党の菅直人代表が出席者からのマニフェスト提案や政策課題、意見に直接応答。「高速道路の無料化と土地政策」、「入試改革と教育の再生」、「日本の将来像と信頼できる年金制度の改革」、「自衛隊の海外派遣と国防」などについて熱心に討論が繰り広げられました。菅さんは「改革派知事とつくるマニフェスト会議」の結成を模索していることを披露し、「市民の身近なところで物事が決まる国の形」をつくりだす分権自治を政権公約の柱に盛り込むことを約束しました。



8月26日西日本新聞

とちぎ義博は、藤田 一枝さんを 応援します!!

政権交代で日本を変える



前回の衆議院選挙から3年余。日本の政治や私たちの暮らしは、少しは良くなったのでしょうか。答えは「NO」です。長引く景気の低迷は、雇用不安・将来不安のみならず、社会不安をも増大させてきました。政治と金を巡る問題は後を絶たず、政治不信を増幅させています。更に、政治家の言葉の軽さ、市民感覚・人権感覚を無くした政治家の発言が相次ぎ、政治を陥しこめています。

最早、政治は国民の信を問う時期を迎えています。政治が変われば暮らしが変わります。早良区から、政治を変える大きなうねりを起こしましょう。

民主党福岡県総支部連合会副代表
民主党福岡県第3区総支部代表
前県議会議員

ふじたかずえ
藤田 一枝

藤田 一枝 事務所 / 〒814-0033 早良区有田7-24-6
TEL 092-851-2001 FAX 092-851-2008
Eメール fujita@fukuoka3.com
ホームページ http://fujita@fukuoka3.com

船上の花火に200名が歓声!

西鉄マリエラ・博多湾クルーズ

楽しかったとちぎ義博・浜風のつどい

とちぎ義博が、福岡市議2期目の活動開始にあたり、ケヤキ庭石事件や第3セクターの経営問題、市議会情報の透明性確保など福岡市政の改革についての思いを支持者の皆さんに届けるという目的で開催した「とちぎ義博・浜風のつどい」。

今年で3回目を迎えた「浜風のつどい」は9月20日、香椎浜の花火大会と博多の夜景を楽しもうと装いも新たに「西鉄マリエラ」をチャーターして博多湾をクルージングしました。次々と花火の大輪が開花するたびに船上からは大きな歓声沸き起こりました。マリエラ号の操舵室を見学した子どもたちは、すっかり「船長」になりきって大興奮。楽しいひとときを過ごしました。

さて、「浜風のつどい」では、とちぎ義博の市政報告とともに、藤田一枝さん(福岡3区総支部代表)をゲストに招いて、解散総選挙など政局の最新情報を聞きました。「自民党から民主党への政権交代が現実味を帯びてきた」とする見方を示し、民主党へのいっそうの支持を参加者に訴えました。



市議2期目のぞむ 市政改革の思い新たに